学校番号	3005

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編言語文化」（東京書籍）						
副教材等	カラー版新国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古文や小説の文章の中に描かれる様々な人間の心理を「読んで理解できる力」を向上させ、他者と触れ合う中で変化する人間の思い・考えを知り、心の広さと深さを育てましょう。他者と協働する力を向上させましょう。
古典作品から、千年以上変わらない人間の心理について学びましょう。

2　学習の到達目標

・「知識及び技能」古文や漢文や小説を読んで、登場人物の心理や内容を理解する。
・「思考力・判断力・表現力等」理解したことを、適切な語句を選び、文章にして表現することができるようにする。
・「学びに向かう力・人間性等」作品を通して理解したことを踏まえて、言語文化と自分とのかかわりについてそれ以前より深く思い、考えることができるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	漢字、古文・漢文・小説の語句の意味を正しく理解したうえで、文章の内容を理解できている。古文から現代文に至る言語文化の特質について理解し適切に使っている。	古文・漢文・小説からいろいろな表現を学び、相手や目的や意図に応じて自分で深く思い、考えている。時と場、相手に合わせて、表現の仕方を工夫して、相手に伝わるように表現できている。	古文、漢文を深く学び、相手に合わせて表現を工夫し、自分の伝えたいことがよく相手に伝わるように自ら進んで試行錯誤を繰り返している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	古文に親しむ ［教材］ 宇治拾遺物語（児のそら寝、絵仏師良秀） 今鏡（用光と白波）	a：文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現について理解することができる。 b[読]：古典から生まれた近現代の小説を読み、普遍的な問題を読み取る。 c：言語文化の現代的な価値について考えることができる。	定期考査	定期考査	プリント ノート 小テスト 発言
	心情表現を考える ［教材］ さくらさくらさくら 小倉百人一首 徒然草（亀山殿の御池に、奥山に猫またといふものありて） 枕草子（うつくしきもの） 伊勢物語（芥川、筒井筒）	a：筆者の考え方を読んで理解することができる。文語文法、古典特有の表現、和歌の修辞法について理解することができる。 b[読]：物語の内容を読解し、和歌に凝縮した登場人物の思いや心の通い合いを理解することができる。 c：文章や和歌に表れたものの見方・考え方を捉えることができる。	定期考査	定期考査	プリント ノート 小テスト 発言
後期	登場人物の心情を読み取り、小説に親しむ ［教材］ とんかつ 雨漏りの音	a：三人称の語り手による多様な心情表現を理解することができる。物語を構成する要素を捉え、物語の展開を把握することができる。 b[書]：物語の読後に自らの考えを書くことができる。 c：物語の構成を理解することによって、相手に伝える方法を考えることができる。	定期考査	定期考査	プリント ノート 小テスト 発言
	物語の展開を把握する ［教材］ 羅生門 戦国策（虎の威を借る）	a：三人称の語り手による多様な心情表現を理解し、作品の時代背景や展開の巧みさを把握することができる。漢文訓読のきまりや句法を理解する。 b[書]：物語のおもしろさ、深さを作り出す人物設定を捉え、主題を理解することができる。主題に対する自らの考えを書くことができる。 c：物語の主題について考え、自らの人生に活かすことができる。	定期考査	定期考査	プリント ノート 小テスト 発言
	漢詩を味わう ［教材］ 唐詩　（絶句と律詩）	a：対句などの漢詩特有の表現を理解することができる。 b[読]：作品に描かれた情景、心情を読み取ることができる。 c：作品の背景が想像できる。	定期考査	定期考査	プリント ノート 小テスト 発言
	古代中国の文章を理解し、味わう ［教材］ 論語八章 三国志（三編）	a：書かれた内容の意味を捉え、理解することができる。 b[読]：筆者の考えを捉えることができる。 c：物事との向き合い方、人生観などにおいて、現代に置き換えても通用する点に気づくことができる。	定期考査	定期考査	プリント ノート 小テスト 発言

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間